

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

1 会議の名称	「市の財政状況と経営改革」住民説明会
2 開催日時	平成 26 年 10 月 19 日（日） 19 時 00 分～21 時 10 分
3 開催場所	天神山コミュニティセンター
4 審議等事項	持続可能な行政運営に向けて
5 出席者名	（説明員）佐久間市長、高橋副市長、小泉総務部長、 刈込企画財政部長 （事務局）小柴行政管理課長、石川財政課長補佐 （司会）宇山防災課長
6 公開又は非公開の別	公開 ・ 一部非公開 ・ 非公開
7 非公開の理由	富津市情報公開条例第 23 条第 号に該当 （理由）
8 傍聴人数	104 人（定員 人）
9 所管課	総務部行政管理課行革推進係 電話 0439-80-1211
10 会議録（発言の内容）	別紙のとおり

「市の財政状況と経営改革」住民説明会会議録

発言者	発言内容
防災課長	<p>定刻となりましたので、ただ今から始めさせていただきます。</p> <p>本日は大変お忙しいなか、説明会に参加いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>ただ今から市の財政状況と経営改革に係る住民説明会を開催いたします。今回の説明会につきましては、先の新聞・テレビ等の報道について改めて市民の皆さまにお伝えすることを目的として開催するものでございます。</p> <p>次に、説明の前に本日の説明員を紹介させていただきます。</p> <p>市長の佐久間清治でございます。</p> <p>副市長の高橋恭市でございます。</p> <p>経営改革等を主管する総務部長の小泉義行でございます。</p> <p>財政運営等を主管する企画財政部長の刈込幹夫でございます。</p> <p>申し遅れましたが、本日の司会進行を務めます総務部防災課の宇山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日配布いたしました資料の確認をいたします。よろしいでしょうか？</p> <p>また、質問につきましては、説明員の説明後にお受けしますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、市長から説明申し上げます。</p>
市長	<p>皆さん、こんばんは。</p> <p>夜分、お疲れのところ、また、本来であればゆっくりお寛ぎの時間かと思えますけれども、ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>この度、富津市の財政状況につきまして、新聞あるいはテレビの報道、そして、インターネットの記事等をご覧になった住民の皆さん方から、ご不安とご心配のご意見等をいただいているところでございますけれども、ご迷惑をおかけしましたことにつきまして、改めて説明させていただきます。</p> <p>座って説明させていただきます。</p> <p>まず、皆さんにお知らせすることは、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはございませんし、現在、赤字になっているわけではございません。</p> <p>今回、記者発表させていただきましたのは、このまま何もせず行政運営を続けていくと、財政状況は赤字になり、5年後に財政破たんしてしまう可能性があるということでございます。</p> <p>富津市では、これまで安全・安心のための事業を優先して行ってきたこと、年々増加する社会保障費、また、税収の減少などにより収支不足が見込まれるなかでその財源不足を補うため、市の貯金であります財政調整基金を取り崩して参りました。</p> <p>富津市の財政状況がこれまでと大きく違うのは、この財政調整基金が底をつき、平成 27 年度以降の赤字決算が現実のものとなったことであ</p>

ります。

お手元に配布いたしました資料中段左の「収支見込みのポイント」をご覧ください。

このままでいきますと、平成 27 年度から 31 年度までの 5 年間の財源不足額は 28 億円、平成 30 年度には積み重なった赤字額が 22 億円となり、財政再生団体となる可能性のある極めて厳しい見込みであります。

財源不足を補うための財政調整基金残高は、わずか 2 億円であります。

何度も申し上げますけれども、富津市は、これまで赤字を一度も出したことはありませんし、また現在、赤字になっているわけではありません。しかし、従前の財政収支改善策や、単年度の予算査定を中心とした歳出削減などの取り組みだけでは、この状況を克服することは困難であります。

そのために、これまでの財政運営だけに目を向けた改革ではなく、行政運営全体を見直す経営改革を断行するものでございます。

次に、資料最下段の四角枠、経営改革内容をご覧ください。

これまで皆さんから問い合わせをいただいておりますが、基本的に住民サービスは適正に維持して参ります。

まず、「①将来に向けての財政基準の作成及び実行」ですが、ここでお示ししました取組みを中心とした経営改革のための具体的なプランを策定するとともに、これまで財政調整基金を取り崩して財源としてきた富津市の財政運営を反省し、当該年度の歳入をもって歳出を賄うなど財政規律を厳格化して参りたいと考えております。

次に、「②公共施設の見直し」ですが、現在の危機的な財政状況を招いた大きな要因は、多くの公共施設を建設する際に、財源とした起債の償還額とその維持管理費の増大にあるといえます。市として真に必要な施設だけを将来世代に良好な状態で残し、それ以外の利用度の低い施設や、維持管理費の高い施設などは、売却や広域化などを積極的に進めて参りたいと考えております。

次に、「③事務事業の聖域なき抜本的な見直し」、「1 税収の確保」ですが、今後、税収の増加が見込まれない状況のなか、引き続き、滞納処分により税負担の公平性の確保をして参りたいと考えております。

「2 職員数の削減」ですが、現在の危機的な財政状況を回避するには、まず、内部経費を削減することに全力を尽くさなければなりません。歳出の大きな部分を占めます「人件費」の割合を削減することは当然であり、職員数の大幅な削減を実行して参りたいと考えております。

「3 行政サービスの見直し」であります。サービス水準を維持しながら、公共として将来にわたって提供すべきサービスの範囲はどこまでか、あらためて考える時期に来ていると考えます。民間に任せるべき事務も多くなってきておりますし、サービス提供のあり方は多様化しておりますので、公共の直接行うべき範囲、民間に委ねるべき範囲を考えあわせ見直していきたいと考えております。

「4 受益者負担の見直し」ですが、行政が、特定の方を対象とし、サービスの給付をする場合、無料ないし過度に低廉な料金で提供すること

は、公平性の観点から望ましいものではないと考えられます。行政サービスのコスト負担について、どこまでを「受益者負担」とするのか、見直して参りたいと考えております。

「5 民間活力の活用」でありますけれども、行政サービスを受ける住民の皆さんにとっては、サービスの質が保証されることが一番重要であり、それが担保されれば、民間が供給する方が効率的である場合が多く見受けられます。行政サービスのなかでも、民営化・民間委託化が可能な分野は、費用対効果を考慮し、積極的に推進し、効率的なサービス提供を図って参りたいと考えております。

次に、資料下段右の「富津市経営改革会議」をご覧ください。

これら経営改革の内容を話し合うため、有識者で構成する「富津市経営改革会議」を設置いたしました。

今月 31 日の第 1 回会議をはじめといたしまして、議論していただくことを考えております。

最後に、この経営改革につきましては、私が先頭に立ち、職員一丸となって断行して参ります。

皆さま方の更なるご支援、ご協力を賜りますようお願い申しあげ説明とさせていただきます。

次に、これまでの説明会での主な質疑内容につきまして、ご報告をさせていただきます。

まず、今回の報道につきまして、「どうして夕張市と同じや破たんの報道が出たのか」、「なぜマスコミ報道後に住民説明なのか」ということですが、毎議会開催前に開いております、定例記者会見の際に中期収支見込みを発表いたしました。

しかし、この説明では夕張のようになります、破たんしますというような記者発表をしたわけではありません。このままの状況で行くと、5 年後には財政再生団体のレベルに達してしまうので、今の段階で改革をしていきたいと発表したわけですが、その際、財政再生団体とはという質問のなかで、夕張市を例にしてお話ししたのは事実でございます。これが特別にクローズアップされたものであります。

報道が、住民の皆さんにお知らせする前になってしまったことにつきましては、深くお詫び申し上げたいと存じます。

次に、「イメージダウン回復の戦略」ですが、住民の皆さんに、今後の財源不足が回避できたとよい報告ができることがイメージダウンの回復であると考えております。できるだけ早く、住民の皆さんにお知らせできるよう、経営改革を断行して参ります。この間につきましても、改善状況をお知らせして参ります。

次に、財政状況について、「身の丈にあったというのはどういう意味か」ということですが、歳入の一般財源の規模をもって、すべての経費を賄うという意味でございます。具体的には、中期収支見込みで見込んだ一般財源 110 億円程度を見込んでおります。

次に、「固定資産税が減少するのはわかっていたのではないか」「計画の段階で先が見えなかったのか」ということですが、これまで富津市では 5 か年計画をはじめ、さまざまな計画を策定して参りまし

た。ところが、リーマンショック、東日本大震災、障害者自立支援法など国の制度の相次ぐ見直し等の特殊要因があったにせよ、その計画が結果的に過大であったことは、真摯に反省しております。

次に、「市税の滞納額も財政悪化の要因では、徴収を強化すべきでは」ということですが、引き続き、滞納処分等を実施し、徴収強化を図って参ります。

次に、「国保などの社会保障費の増加は県や市町村の問題ではなく、国への提言を怠っているのではないか」ということですが、全国市長会などをおしめて、強く申し出ているところでございます。

次に、経営改革関係につきまして「経営改革での具体的な見直し対象」ということですが、普通建設事業費のうち未着手事業については、例外なく見直しをして参ります。また、着手済みの事業につきましても、その効果を再検討し、見直しをして参りたいと考えております。

職員数は、抜本的にスリム化して参ります。

また、公共施設は、適正な水準に保ちます。

財政状況が厳しいからと言って、介護、国保のような法定サービスは安定した状態で運営を行って参りたいと考えております。税金を上げるようなことは当然ながらいたしません。

次に、「学校統廃合にこれだけ時間を要している状況で、経営改革を短期間で断行できるのか、全てをゼロベースで見直さなければならない」ということですが、関豊小、環小が来年度から合併になります。市側の意見だけでは進められないところでございますが、他の学校につきましても、順次地元のご意見を伺いながら、教育部の方で計画を作っていますけれども、それに沿って進めていきたいという考えでございます。

また、経営改革は短期的なもの、中・長期的なものとの区別して進める必要がございます。経営改革会議はこれら市の考え方を提示して意見をもらうかたちとなります。

「改革にあたっての削減目標額は」ということですが、まずは来年度予算で 3 億円の赤字を埋める、最終的に、今後 5 年間で 28 億円の赤字を埋めると同時に、災害等に備えることができるよう、できるだけ財政調整基金を積み増しして参ります。

「どんな事業をいくらやめるのかははっきり示してほしい」ということでございます。

経営改革プランを作成するなかで、また、経営改革会議で議論していただいたなかで示していきたいと考えております。

「特別職報酬・職員給与削減は実施しないのか」ということですが、当然のことですが、見直しを実施して参りたいと考えております。

「震災時の状況から、職員数削減以前に事務事業の見直しを優先すべきではないか」ということですが、当然、事務事業の見直しは実行していきますが、並行して我々が標準と考える職員数まで削減を実行して参りたいと考えております。

「経営改革会議の有識者はどのような人で何名か」ということござ

<p>防災課長</p>	<p>いますが、国地方行政経験、会計制度に精通した大学教授 2 人、公認会計士 1 人、会社社長 1 人、県庁職員 O B 1 人の計 5 人であります。</p> <p>既にこの方々から内諾はいただいておりますけれども、現時点ではまだ承諾書が出揃っておりませんので、公表に至ってはおりません。ご了承いただきたいと存じます。</p> <p>「経営改革会議委員に市民を入れないのはなぜか」ということでございますが、抜本的な改革のためには、「しがらみ」のある市民、受益者では検討しにくいのではないかと考えまして、今回は外部有識者としてただ今申し上げました委員構成といたしました。</p> <p>次に、その他についてでございますけれども、「議会の取り組みは」というご質問でございます。執行部とは別に、議会の方は、議会改革の検討委員会の方で、いろいろな角度からの改革を検討されているとお聞きしております。</p> <p>また、「市民との対話の機会が少ない」ということでございますけれども、過去にも、対話集会は何度か実施しております。また、今後におきましても、他のテーマを含め、機会を作って行っていきたいと考えております。</p> <p>また、「市長の決意表明は」ということでございますけれども、現在の財政状況を回復させることが私の使命であり、任期中できるだけ早く住民の皆さまにより報告ができるよう、経営改革を断行して参ります。</p> <p>以上で主な質疑の報告を終わらせていただきます。</p> <p>続きまして、補足説明を副市長及び両部長から申し上げます。</p>
<p>副市長</p>	<p>改めまして、皆さんこんばんは。</p> <p>本日は、週末本来であればお寛ぎの時間に、このように大勢の皆さんにお集まりいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>はじめに、今回の報道によりまして、当市の財政状況につきまして、大変なご不安を与えたこと心からお詫び申し上げる次第でございます。</p> <p>大変失礼ですが、私も着座にてお話をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしく願います。</p> <p>ただ今、市長が申し上げました経営改革の取り組みにつきましては、市長の命を受け、私の指示により、市役所全庁を挙げ取り組んでおります。市役所内部に関することにつきましては、あらゆる事務事業を広い視野と、可能性を諦めずに、見直し、確認することを指示いたしますとともに、職員の提案や意見も取り入れ、作業に入らせていただいております。また、今後につきましては、経営改革会議のご意見を伺いながら、経営改革全般の方向性を取りまとめて参りたいと考えております。</p> <p>差し迫りまして来年度予算でございますが、できるものから即実行して参りたいと考えております。</p> <p>この後、財政状況につきましては、企画財政部長から、また、これまでの行政改革の取り組みにつきましては、総務部長から説明をいたさせていただきますので、お聞き取りいただきたいと思います。</p>

企画財政部長	<p>皆さまには、今後の経営改革断行につきまして、ご理解、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。</p> <p>本日は、よろしく願いいたします。</p> <p>市長の方から先ほど「財政状況」につきまして説明いたしました。私からは「このような財政状況に至った原因」につきまして、補足させていただきたく存じます。失礼して着席させて説明させていただきます。</p> <p>本市におきましては、平成 11 年度にそれ以前の事業の借入金によりまして、債務が増大したことから「財政非常事態宣言」をいたしました。</p> <p>そこで、債務を減少させ危機的な状況を回避するために、平成 11 年に「財政健全化計画」を策定いたしまして、これに基づきまして財政の健全化に向けて計画を実行し、その効果により債務が減少したことから、平成 17 年度には「財政非常事態宣言」を解除いたしました。しかし、その後もそこで定めた財政収支改善策を恒久的なものとして、取り組んできたところであります。</p> <p>しかしながら、昭和 60 年が人口のピークでございました。昭和 60 年から続きます、生産年齢人口 15 歳以上 65 枚未満の人口になりますが、生産年齢の人口減少や、長引く景気の低迷によりまして個人、法人市民税が減収しております。またこのほか、本市の税収の根幹、幹となっております固定資産税の大幅な減収に加えまして、生活保護者の増加や、高齢化の進行によりまして障がい者や、介護を必要とする方々が増加いたしまして、社会保障費関係の扶助費などが毎年増え続け、年々財政運営は厳しさを増しているところでございます。</p> <p>このような状況のなかで、歳入の減少に対応いたしました職員の定員管理を中心といたします総人件費の抑制も不十分であったこと、また、近年、財政調整基金、市の貯金といたしまして、身の丈に合わない、総合計画をはじめといたします、様々な計画により事業を行ってきた事が、今般の状況に至った原因と考えております。</p> <p>また、周辺環境要因としましては、財政力が全国有数の裕福団体でありました、袖ヶ浦市、君津市など圏域内の他市と歩調を併せまして、いろいろな事業を拡大してきたことも財政状況悪化の一因と考えております。</p> <p>しかしながら、今回公表いたしました、来年度の財源不足につきましては、27 年度は、3 億円と見込んでありますが、この額の一般財源総額 110 億円に占める割合は 3%でございます。夕張市の不足額、赤字額が一般財源に占める割合は 700%、赤字が収入の 7 倍という数字でありますので、当市の場合は、夕張市の状況とはとはまったく異なり、比較にはなりません。</p> <p>経営改革の実行が前提になりますが、十分回復可能な数字であることをご理解いただければと存じます。</p> <p>以上で説明を終わらせていただきます。</p>
総務部長	よろしく願いいたします。

	<p>私から、今まで取り組んで参りました財政健全化対策、財政収支改善策、行財政改革につきましてご説明をさせていただきます。失礼させていただきます。座らせていただきます。</p> <p>まず、財政健全化対策を、平成 5 年度から 16 年度まで実施をして参りました。16 年度までの実施のなかで、財政非常事態宣言を解除した、平成 17 年度からは財政収支改善策を実施して参りました。</p> <p>これに並行して、行財政改革を、平成 11 年度から平成 15 年度までを第一次、平成 16 年度から 21 年度までを第二次、平成 22 年度から 24 年度までを第三次として推進をして参りました。</p> <p>これらの実績でございますが、まず、歳入確保策といたしまして、これまでの影響額は約 48 億円、主な内訳といたしましては、未利用地の売却処分による影響額が約 2 億円、各種基金の設置目的に沿った処分による影響額が約 25 億円などがございます。</p> <p>次に、人件費の削減といたしまして、これまでの影響額は約 58 億円、主な内訳といたしまして、職員数の削減、特別職の報酬カットや職員給与の昇給延伸などの抑制、手当の引下げによる影響額が約 43 億円、議員等の定数の削減や手当の見直しが約 10 億円、学校用務員の非常勤化が約 2 億円などがございます。</p> <p>次に、維持管理費などの削減額といたしまして、これまでの影響額は約 5 億円、主な内訳といたしまして、佐貫保育所と佐貫第二保育所の統合による影響額が約 2 億円、公共施設の管理運営といたしまして指定管理者制度の導入などによる影響額が約 9 千万円、市営バスの廃止が約 3 千万円、公共借地の見直しとして約 3 千万円などがございます。</p> <p>最後に補助金や交付金などの削減額といたしまして、これまでの影響額は約 6 億円でございます。主な内訳といたしまして、補助金等の見直しによる影響額が約 5 億円、第一次行革から第三次までの廃止が 58 件、削減等 57 件などがございます。</p> <p>総合計でございますが、約 117 億円の影響額でございます。</p> <p>簡単でございますが、以上で説明を終わらせていただきます。よろしく願います。</p>
<p>防災課長</p>	<p>説明は終わりました。</p> <p>続けまして質問をお受けしたいと思います。質問をお受けするに当たってお願いがございます。挙手をお願いしますが、私の方で指名をさせていただいた方にはマイクをお届けしますので、マイクが届くまでそのままお待ちください。マイクをお持ちでない方は、質問が聞こえないといけませんので、私語の方は、ぜひお控えいただきますようお願いいたします。</p> <p>それでは、質問のある方、挙手をお願いいたします。</p>
<p>(市民①)</p>	<p>去る 15 日市民会館で湊地区の住民説明会に出席をさせていただきました。一市民として意見を発言させていただきましたが、一切回答はお願いしませんでした。今日は、該当区の住民説明会ということでございますから、率直に私の一市民としての思いをお話し、一つずつできれば</p>

市長のご回答をお願いしたいとそのように考えております。皆さんご存じのように新聞、テレビ等の財政危機報道に不安感のみならず、不信感、怒りを覚えています。冷静に財政状況、経営改革についての執行部の皆さん方の再度のご説明を拝聴いたしたいとやってきました。これからはこうやっていきます、持続可能な行政経営をやりますというご説明に一定の理解と評価はいたします。ただし、市民に信頼と理解を得るために一つ大きな課題が抜けていませんか。報道のように来年度は財政調整基金が底をついて赤字となる危機、このままだと実質赤字が 20% 超えて北海道夕張市と同様国の管理下財政再生団体になる危機。今年度決算赤字ではないと言っても、かろうじてたった 1,000 万の黒字です。なぜ、このような結果になったのか具体的な要因分析と検証が先決ではないでしょうか。即財政破たんしないとか、赤字ではないとか、夕張市とは違って赤字・負債を隠していない、公表を今までしてきた、そんなことを聞いているのではありません。全て結果だという危機感をしっかり認識した対応・対策、まず未来を想定・洞察したなかで、先ほども話があったように富津市経営改革会議を含め、幅広い現実的な市民の声を活かして、具体的に実効性のある改革案を策定してしっかりと。まず平成 11 年から行財政改革大綱を策定しました。この改革基本方針と連動させて勇断、実行、再興を市民に訴え、率直に市長をはじめ幹部の皆さんにお伺いしたいのですが、これを真と誓えますか。これから具体的に一つずつお伺いしますからぜひ回答をいただきたいと思います。国会議員・県議員・市議員の皆さん大多数が賢政会という勢力分野が、この体制・体質、これを否定しているのではありません。こういうなかで市長は、行政運営を司るということは、大船に乗って立派なことができそうだと期待しておりましたが、この結果に対して色々と疑問を持っています。平成 11 年から平成 16 年第一次行財政改革大綱は、市長は白井貫さんでした。「市民に我慢してくれ」とまず負債をどう減らしていくかと、そういうことで百数十億の負債を減らしました。私はそういう将来を、10 年 20 年後どうするかという財政状況を考えながら、先取りでこういう対応をするというのは、リーダーの責任だと思っております、

（「質問だけきちんとしろ。」の声）

この思いを言いたいんです。こうなった結果、ハコモノばかり建て、やるべき改革・見直しやらずに、ハコモノだけ建てればいいのではありません。だから一つずつ聞きたいのです。

（「早く聞きなさいよ。」の声）

野次は後で、挙手をして発言してください。常識です。私は挙手をして自分を名乗っています。人がしゃべっているときに横やりを入れて

（「手短にやってください。」の声）

まず、このようになったこと、ここはどう考えているか。

まず、富津中をドーム化した 22 億その他の耐震工事が 12 億は、タイミングとして財政状態等々を考えたら適正だったかと判断しているかどうか。ふれあい館か古墳館か知りませんが 2,600 万、あれは優先順位として今は入館者も把握していなくて放置する状態、だったら閉鎖された天羽行政センターの解体費に使ったらどうかと思うが、どう考える

<p>企画財政部長</p>	<p>か。防災センターは生命・財産を守るという大義名分、そのとおりだと思ふ。その前に色々な財源を確保するため手を打たなかったのか。あちらこちらに貸している賃貸料はいくらだ。聞いたら掴んでいない。聞いたら 3,000 万から 4,000 万だと。もっと軽減するようなことを頑張ってみてやって財源を作り出してからハコモノに取り組んだらいかかと思ふ。また改めて対話集会を開いてください。以上についてご回答ください。よろしくお願ひします。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>消防防災センター、学校耐震化、ふれあい古墳館についてお話させていただきます。</p> <p>東日本大震災が起きたことで、いつ災害が起こるかわからないということで事業を行ってきたところでございます。小中学校の耐震化整備につきましては、平成 18 年度から 25 年度まで実施しております。経費としては、20 億程度の事業費として実施しております。消防防災センターについては、3.11 を受け 23・24 年度、10 億程度の費用をかけまして、防災拠点として整備させていただきました。</p> <p>史跡案内所ですが、国指定の古墳群見学に際しての情報発信拠点として、22 年度に整備させていただきました。建設工事費は、2,500 万あまりで整備したところでございます。以上概略です。</p>
<p>総務部長</p>	<p>市で借りている土地の賃借料ですが、25 年度決算の数字で全体で約 3,500 万円でございます。</p>
<p>(市民②)</p>	<p>休日にもかかわらず多くの区民がお越しいただいております。貴重な時間を無駄にすることなく真摯に回答いただくことを切にお願い申し上げます。質問が多々出ると思いますので、皆さんが質問できるよう進行をお願いします。</p>
<p>防災課長</p>	<p>司会が至りませんので申し訳ございません。 質問は簡潔にまとめてお願いいたします。</p>
<p>(市民③-1)</p>	<p>島根県のある町では町長の給料を 50%カット、職員の給料を 30%カットしたそうですが、富津市ではそのような決断をされますでしょうか。</p>
<p>市長</p>	<p>給与等の削減も考えております。</p>
<p>(市民③-2)</p>	<p>その町ではまちおこしをした結果、出て行った人たちが戻ってきたそうです。そういったまちおこしのようなことはしないのでしょうか。 今までの総合計画が甘かったのではないですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>人口減少等情勢もあるなかで今までの計画が過大であったと反省させていただきます。 まちおこしですが、定住奨励、地元産品を取り組んで参りますが、な</p>

<p>(市民③-3)</p>	<p>かなか人口増につがらないという面では努力は足りないと認めております。</p> <p>今ある人・もの・資源等、ふるさと納税等を活用して外部に発信していくこと等も進めていきたいと考えております。</p>
<p>総務部長</p>	<p>議員に給料を下げたらいかがかと聞いたら、周辺市町村との兼ね合いがあるから下げられないといわれましたが、そういうものなのでしょうか。</p>
<p>(市民④-1)</p>	<p>総合計画が「身の丈に合わない」と認識になったのはいつごろからなのか。どういう手立てを打ったのかお聞きしたい。そして、それがどうして今に至ったのか。</p> <p>今後の組織の削減についてどうお考えになっているのか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>22・23 年度から、東京電力さんの固定資産税のなかの償却資産が年々目減りして参ります。また、東日本大震災により、所得に係る法人市民税がなくなって参りました。また、この間、社会保障費が毎年上昇しております。</p> <p>財政調整基金、市の貯金ですが、ピーク時 10 億円程度あったものが、平成 25 年度末で 2 億円となりました。ある程度の規模を持っておりませんと災害等不測の事態に対応できません。これが底をつく状態となり、適正な規模に積んでいきたいという考えでございます。</p>
<p>総務部長</p>	<p>組織の統廃合ですが、今年 4 月 1 日時点で 13 部局 39 課ございます。職員数削減しますと成り立たなくなります。市民サービスを低下させないよう、管理部門を合併し、部を減らしていく考えでございます。また、経営改革会議でもご意見いただいて進めていきたいと考えております。</p>
<p>(市民④-2)</p>	<p>ぜひ、実効性のある施策を推進していただきたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
<p>(市民⑤)</p>	<p>富津市の含み資産、土地・建物はどのくらいあるのでしょうか。要するにお金がなければ、含み資産権利を売ればいいのではないのでしょうか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>市が処分できる土地の評価額は今資料がありませんが、各団体に出資しております含み資産、権利ですと、約 20 億円弱です。こちらについては即処分はできないものです。土地については毎年競売を行い、処分を実施しております。具体的にお答えできなくて恐縮ですが、このように行っております。</p>

(市民⑥-1)	<p>財政力指数が 1.0 近辺をキープしていて 26 年度に急落しているようですが、なぜですか。</p> <p>なぜ、財政破たんを受け止められるような発言をしてしまったのか。結果的に行政サービスの低下や、市民の負担が増えてしまうようなことが起きないかお答えいただきたい。</p>
企画財政部長	<p>財政力指数について着目しますが、財政調整基金がございます。今年度末には 1 億 5 千万円程度になろうかと思えます。年度間の財源調整にも使っておりますが、不測の事態が生じた場合の貯金としております。こちらが底をつくというのがこれまでにない厳しい状況だと認識しております。</p> <p>収入が落ちていくなかで、高齢化等に伴う固定経費の増加によって、財政構造が硬直化し、貯金を取り崩してつないできました。今後、税収も落ち込み、貯金も底をつきかけていることから厳しい財政状況になっていると理解しております。</p>
総務部長	<p>行政サービスが低下するということ、税金を上げるということはいたしません。ただ、受益者負担の見直し、特定の方が使っているものの使用料についての検討はいたします。皆さま方にかかる増税、ごみ収集の間引きはいたしません。</p>
(市民⑥-2)	<p>天羽地区は、富津地区に比べて行政サービスが元々よくないイメージがありますので、この財政緊縮で天羽地区を切り捨てることの無いようお願いいたします。</p>
(市民⑦-1)	<p>こうして説明会をしていけば、「給料を下げろ」という意見は必ず出てきます。今までは過去の問題として仕方ないとして、これから市民の皆さんに理解を求めながら、職員一丸となってやっていくと自ら発表したことは、大変勇気のある発表だと思います。そういう考えもあると分かっていたいただきたい。</p> <p>ただ、市民が税金を納める義務があるかと思えます。滞納している税金はいくらありますか。</p>
企画財政部長	<p>25 年度の決算額でございますが、合計 8 億 1,400 万円でございます。</p>
(市民⑦-2)	<p>自己破産等、いろいろな理由で滞納が発生しているかと思えます。ぜひ職員一丸となって平等公平とするために強力に回収に努めていただくようお願いいたします。</p> <p>基本的に市長や職員の給料を削減するというのは大反対です。削減したから責任放棄するということになるんです。削減なんかしないで、不良債権を早期に回収して、職員がやる気になるような体制にしてください。給料下げられて仕事を一生懸命やるような人間はいません。決まった給料で責任を遂行するのが常識じゃないですか。</p> <p>ぜひ佐久間市長は先頭となって頑張ってください。</p>

<p>(市民⑧-1)</p>	<p>大幅な人員削減ということですが、5 年後には何人にする予定ですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>平成 22 年度に立てた定員適正化計画が、27 年度までに目標値 500 人になると立ててあります。今年度退職者は、40 人程です。新規採用職員は、3 人の予定で進めております。差が 37 人となりますので、500 人はクリアしております。</p> <p>ただ、この改革のなかで人件費の占める割合が高いということで、再度算定をしておし、同規模で合併した団体を抜いて比較し、見込みですが、5 年後に 90 名弱削減する予定です。</p>
<p>(市民⑧-2)</p>	<p>5 年かけて 90 名ということは定年退職者だけかと思いますが、抜本的な見直しに当たるのですか。この地区は、ボーナスも退職金もない一次産業従事者、年金生活者が多いと思います。そういった税金からボーナスや退職金が出ていることを認識して、職員の削減し、住みやすい市にしていきたいと思います。</p>
<p>(市民⑨)</p>	<p>先頭に立つという意味で、職員の給与削減の前に市長の給与の削減は検討されていますか。</p>
<p>市長</p>	<p>私も含めて考えております。</p>
<p>(市民⑩-1)</p>	<p>住民説明会後も市民の声を聞く場を作っていただけますか。</p> <p>経営改革会議のなかでしがらみをなくすため市民を入れないということですが、全員富津市在住でないということによろしいでしょうか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>今回の住民説明会で出た質問、要望、提言や、その後の経営改革会議での意見は、逐次、ご意見等賜れば、検討し反映させていきたいと考えております。</p> <p>今回の有識者のうち公認会計士の方は、富津市の財務を統括していただいている方です。富津市の数字に精通しているということで入っていただきました。社長の方ですが、本社は東京ですが市出身の方です。経営という観点から意見を言っていただきたいということで入れております。</p>
<p>(市民⑩-2)</p>	<p>有識者に支払う報酬はいくらぐらいを予定していますか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>9 月議会でご承認いただきました。お一人、1 日 12,000 円ということをお願いしております。</p>
<p>(市民⑩-3)</p>	<p>これも税金ですので、実りのある会議にしていきたいと思えます。</p> <p>経営改革会議で決定する前に住民説明会をしていただけるとありが</p>

<p>(市民⑪)</p>	<p>たいと思います。</p> <p>なぜ、今回非常事態宣言を発令せずに、報道発表になったのですか。指定廃棄物の最終処理場の候補地が、富津市という噂を聞きましたがいかがですか。</p> <p>原発に係る高濃度の汚染物質も、千葉県に最終処分場として検討されているということも聞いています。併せてお聞きします。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>前回と違いますのは、財政調整基金が底をつきかけております。より厳しい行政全般の見直しが必要になります。宣言だけでなく、議会で説明したなかで、マスコミにも広く公表したということです。</p>
<p>市長</p>	<p>指定廃棄物について、環境省、あるいは千葉県からは、富津市が候補地に上がったということは聞いておりません。現在、県内 4 箇所の産業廃棄物処理場のうち 2 箇所が富津市にありますので、県内平等にやっていただきたいというお話はしております。</p> <p>原発に係る処分場の話も聞いておりません。</p>
<p>(市民⑫)</p>	<p>学校の統廃合ですが、財政的なメリットはどのくらいあるものなのか。人件費については県の負担かと思いましたが、いかがですか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>金額については、本日提示できません。申し訳ありません。</p> <p>学校職員の人件費については県費負担でございます。</p> <p>光熱水費、建物の修繕の経費は、削減されます。</p> <p>現在、市では統合による児童、生徒に与えるメリットの方が大きいらうということで、進めております。</p>
<p>(市民⑬-1)</p>	<p>経営改革会議は、富津市の現状についての会議を行うのですか。現状を踏まえて、どうしたらよくなるか審議してもらうのではないですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>5 名の方は市外の方ですので、まず、会議のなかで富津市の状況を説明いたします。数字的なものについては会議の前にお送りしてあります。</p>
<p>(市民⑬-2)</p>	<p>この会議は期限があるのですか。1 日 12,000 円安いと思います。足代等は配慮されているのですか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>今年度 5 回ほど開催予定でございます。報酬は 12,000 円です。報酬のほかに車賃等の実費が出ます。この二つでございます。</p>
<p>(市民⑭)</p>	<p>経営改革会議にかかる予算は総額でいくら見積もっているのでしょうか。</p> <p>実際には資料印刷等も含めて 1 回 30 万円くらいかかるのではないかと思います。それだけお金がかかる会議なのだからもっとしっかり計画</p>

<p>総務部長</p>	<p>を立ててやっていただきたい。富津市をどうして行きたいかビジョンを設けたうえで、有識者の方にどんなアドバイスをもらうか戦略を立てていただきたいと思います。</p>
<p>（市民⑮）</p>	<p>30 万円の報酬のほかに費用弁償として 20 万円を予算化してごさいます。</p>
<p>（市民⑯）</p>	<p>島根県の町では、改革すべきことを自分たちで出したのではないかと思います。方向性を示して市民の意見を聞くということなら分かるんです。市長がやるという決意が希薄です。腹をくくってもらいたい。自分が変わらなければ、識者の方を呼ばれても失礼なだけだと思います。</p>
<p>（市民⑰-1）</p>	<p>富津市の職員の方の年収に関しては、他に比べてそれほど高いというものではないと思います。退職金に関しては浦安市より高いというのは納得いきませんが。 ただ、議員の年収に関してですが、48 市町村のなかで約 10 位という金額ですが、本当に削減できるのでしょうか。</p>
<p>総務部長</p>	<p>議会に関しては、議会改革検討委員会で論議をしていると聞いております。ご理解いただきたいと思います。</p>
<p>（市民⑰-2）</p>	<p>議長、副議長を別としまして、富津市で 45 万円、南房総市で 33 万 7 千円、浦安市が 52 万円と出ておりますが、削減できると今言えないのですか。鋸南町に関しては 21 万円という非常に少ない数字です。こちらの額だけで十分賄える金額だと思うのですが。 こちらはできないけども職員から減らすというのはおかしいのではないかと。このようになったのは、議員が無策でやった結果ではないのですか。トップが責任を取ったうえで、下にもというのが筋だと思いますので、よろしくご検討ください。</p>
<p>（市民⑱）</p>	<p>初回は、時間を切らないということでしたが、もし区切るのであれば最初に言っていただきたい。</p>
<p>防災課長</p>	<p>進行のなかで時間を区切らないということ、また何時までに終わりたいということも申し上げておりませんでした。申し訳ありません。 あえて短時間で終わらせようという進行ではごさいませんので、十分な質問をお受けするという事で決めてごさいます。</p>
<p>（市民⑲）</p>	<p>バスストップの件についてお話いただけますか。</p>
<p>企画財政部長</p>	<p>今現在、白浜から東京方面、竹岡と上総湊へ迂回して高速バスが運行しております。迂回ということで時間がかかるということで、国土交通省から位置が決定され、ネクスコさんが事業を進めるべく計画中です。JR の単線区間等といった状況もごさいますので、高速バスの利便性を</p>

	<p>含め計画を進めさせていただいております。</p>
（市民⑱）	<p>直近の財政指数と、経常収支比率を教えてください。 対話集会后日計画してください。</p>
企画財政部長	<p>財政力指数は 0.94、経常収支比率は 93.1%です。 対話集会につきましては、今後、広く皆さま方からの意見をと考えて おります。市民の方々の意見を頂戴し、意見を聞くべきという考え方で 今後も進めていきたいと考えております。</p>
（市民⑳-1）	<p>市議のブログで砂利採取場の跡地利用をするとのことですが、どうい ったものをやるのか教えていただけますか。</p>
企画財政部長	<p>おそらく浅間山のことかと思います。メガソーラー、バスストップを 発展的にするなかで、就業の機会、物販の場としていきたいと考えてお ります。企業の所有地となっておりますので、有効利用として企業と協 議させていただいております。</p>
（市民⑳-2）	<p>企業誘致して収入を増やすというのはよい考えだと思います。PCD 等 の産業廃棄物を燃料としたスマートエネルギーを利用したスポーツや 災害避難所施設の計画をしている会社があると伺いましたが、そうい ったものは推進していないということによろしいですか。</p>
企画財政部長	<p>今お話いただいた内容については聞いておりません。跡地利用にどう いった施設かというのは固定しておりません。</p>
（市民⑳-3）	<p>企業に持ってもらうと税を落としてもらうのはよいかと思うのです が、いろいろされてしまうとまずい部分もあるかと思いますので、行政 で管理していただければと思います。</p>
防災課長	<p>ここで説明会は閉じさせていただきます。最後に市長より閉会に当 たりご挨拶を申し上げます。</p>
市長	<p>本日は、夜分遅くまでお集まりいただき、いろいろとご提言をいた だきました。皆さま方のご意見を賜りながら、私を先頭に職員一丸とな って改革を断行して参りますので、市民の皆さま方には、今まで以上のご 理解とご支援を賜りますようお願い申し上げ、お礼の言葉とさせてい たいただきます。 本日は、誠にありがとうございました。</p>
防災課長	<p>以上で説明会を終了いたします。長時間ありがとうございました。</p>

以上